

令和元年度事業報告書

平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人市民活動さぼーとねっと

総 括

防府市地域協働支援センター・防府市市民活動支援センターの指定管理者 3 期目の 3 年目として、防府市における中間支援としての業務などを行い、今年度は協働の実践事例に対する支援と、新たな担い手となる人材の巻き込みを目的とした事業に重点を置いて取り組んでいった。

また、今年度もファミリーサポートセンター、留守家庭児童学級の運営について、防府市から業務を受託し、継続実施した。

令和 2 年 3 月頃から起こった新型コロナウイルス感染の社会的な影響は、当法人の事業にも影響を及ぼしており、地域協働支援センター指定管理では貸室の休止や講座などの中止、留守家庭児童学級運営業務では学校の休校に伴う業務の増大などが起こった。

それらに対応しながら、各事業を運営していくことで、危機管理などについて検討するとともに、協働の意義やコーディネートの重要性を考える機会となった。

1 特定非営利活動に係る事業

1) 地域協働支援センター指定管理

防府市地域協働支援センター・防府市市民活動支援センターの指定管理者 3 期目の 3 年目として、防府市における中間支援としての業務などを行った。

その中で、今年度は協働の実践事例に対する支援として、地域で子どもを支えるしくみや防災士との連携、若い世代が市民活動に関わるきっかけづくりといったテーマを設け、重点的に講座・イベント開催や関係する団体間の調整などに取り組んでいった。

その結果、防府市内の子ども食堂運営団体やこれから立ち上げを考えている団体などによるネットワークをつくるという動きが起こり、次年度協議会が発足することとなった。

定款の事業名	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
協働体制の形成に関する事業	通年	防府市内	15 人	県内外 67,842 人	41,837

2) ファミリーサポートセンター運営受託

子育ての援助を受けたい人（援助の対象は概ね生後 3 か月から小学校 6 年生まで）と行いたい人が会員になり、センター事務局を橋渡し役として、会員同士が子どもの世話を一時的に有料で援助しあう事業を防府市から受託し、今年度も継続して実施した。

定款の事業名	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
協働体制の形成に関する事業	通年	防府市内	10 人	防府市民	8,691

3) 留守家庭児童学級運営業務受託

保護者が共働きなどの理由で日中不在になることにより、家庭における保育が出来ない児童のため、下校後におけるこれら児童の集団生活指導を実施する事業を防府市から受託し、今年度も継続して実施した。

定款の事業名	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
協働体制の形成に関する事業	通年	防府市内	27人	防府市民 309人	64,107

4) 愛情防府子どもフリマ

10月に開催される愛情防府フリーマーケットにおいて、子どもが販売を体験する場として、子どもフリマを運営する。

定款の事業名	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
協働体制の形成に関する事業	6月～11月	防府市内	3人	防府市民	10

2 その他の事業

特になし